エコシン

一般社団法人長野県環境保全協会

No.201
2019/9/25
Less CO_2 !

「第 21 回信州エコ大賞」 受賞者が決定

「大賞」1 団体・1 個人、「奨励賞」1 企業

第 21 回目の信州エコ大賞の受賞者が決まり、10 月 15 日に開かれる協会の定時総会で表彰式が行われます。7 支部から 12 件の推薦があり、審査の結果、大賞には伊那谷自然友の会（飯田支部推薦）と有賀宏道氏（個人、佐久支部推薦）が、奨励賞には㈱キラヤ（飯田支部）が選ばれました。受賞理由は以下のとおりです。

◆大賞　**伊那谷自然友の会（飯田市）**

代表　中村貴俊

同会は 1985 年 11 月に発足し、南・中央の 2 つのアルプス、天竜川の豊かな自然に囲まれた伊那谷を対象にして、自然科学に関する調査・研究を主な活動とし、その成果を広く公開し、地域の教育と文化の発展に貢献している。会の事務局を飯田市美術博物館内に置き、小・中・高等学校の理科の教員、自然を愛する市民、博物館の学芸員など約 900 人が会員として登録され、県外者も 2 割を超えている。

会員の調査、研究活動の発表と交流の場である会報「伊那谷の自然」を隔月で発行し昨年末には 200 号の節目を迎えた。

一般市民向けに、伊那谷の自然を学習する講座や体験する見学会を積極的に企画し、昨年度は地質・生物などの講座を飯田市美術博物館と 12 回共催し 574 人が参加した。自然見学会も伊那谷の各地で 17 回開催し 257 人が参加している。

（写真は南アルプス林道での植物の観察会）

1991 年には、三六災害の 30 周年を機に「伊那谷の土石流と満水」を、1997 年には天竜川上流工事事務所発足 50 周年の冊子「伊那谷の自然 Ⅰ Ⅱ Ⅲ」をそれぞれ編集・発行し、地域の学術の振興と防災に大きな役割をはたしている。1994 年にはムトス飯田賞を受賞している。

◆大賞　**有賀宏道（小諸市）**

現在、軽井沢町立軽井沢中部小学校の教諭である有賀宏道氏は、1990 年より今日まで赴任先の小・中学校で理科教育、環境教育の指導に携わり、教え子たちの研究発表の作品が全国大会で 53 回、全国大会に繋がる県大会で 43 回、ながのエコグッズコンテストで 14 回（当協会主催）表彰を受けている。

（2 面に続く）

Eco Plaza

安全・安心な製品を提供することで社会に貢献
長野計器株式会社　代表取締役社長　佐藤正継

長野計器の歴史は、圧力計測技術の歴史でもあります。1948 年の会社設立を経て現在に至るまで「技術立社」を標榜し、圧力計・圧力センサのリーディングカンパニーとして、「計測から制御へ」をテーマに技術開発を進め、製品のラインナップを拡げてまいりました。これからも品質・性能に拘りをもって、産業界の要求事項や環境配慮に対応した製品を提供していきます。

また、環境基本理念として「環境問題は、人類共通の最重要課題の一つである」との認識のもと、企業活動と地球環境との調和を図り、「安全・安心・信頼」をモットーに、自然環境並びに地域社会と共存する信頼ある企業を目指していきます。

学級単位では、長野市立古牧小学校 5 年 2 組の担任として指導した学級共同研究「メダカの産卵と発生の研究」が毎日新聞社主催の科学コンクールで文部大臣奨励賞を受賞（1991 年）、学年単位では、佐久市立東小学校 6 学年共同研究「学校周辺の河川の調査や太陽光発電から未来を考える」が全国小学校環境学習コンテストで最優秀学校奨励賞を受賞（2012 年）などがある。

3 月に開催された「軽井沢こども G20 サミット」では、軽井沢中部小学校の教え子たちが、「キッズ ISO14000 プログラム」で環境大臣賞を受賞した研究成果などを発表している。自主性を尊重してこどもの科学への興味を引き出す指導方法や学級、学年単位での共同研究・発表などにより、こどもたちの自然や環境に対する意識を高め、その後の進路にも影響を与えている。

こうした理科研究の成果は、保護者や地域の住民の環境意識の向上にも繋がっている。

（右側は水質調査の説明をする有賀氏）

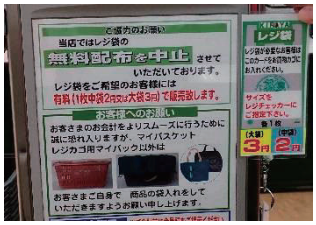
◆奨励賞　**㈱キラヤ（飯田市）**

代表取締役社長　赤羽宏文

同社は 1951 年に設立され、飯田・下伊那地域に 9 店舗を展開している食品スーパーである。

初代社長の環境への強い思いから、店内で発生するレジ袋や食品トレー、牛乳パックなどの削減、生ゴミの再資源化などの環境保全活動に積極的に取り組んでいる。

特にレジ袋削減については 1985 年頃からいち早く取組みを開始し、地域の市民団体の活動も相まって、南信州地域のレジ袋削減の機運を高める端緒となり、現在の南信州地域のマイバッグ持参の意識定着に貢献している。



同社店舗では 92%前後の高い「マイバッグ持参率」の成果をあげている。

店内で発生する生ゴミは全て、再利用して堆肥にするか、メタンガス発酵による発電（外部委託）で処理している。

納品時のノー段ボール化、店内照明の LED 化なども推進している。

今後は、食品ロスを発生させないために受・発注システムの開発を行い食品廃棄物の更なる削減を目指す予定である。

（写真はキラヤ店舗のレジ袋についての案内）

「信州 ESD コンソーシアム」本年度通常総会が開催されました

8 月 24 日（土）、信州大学教育学部で「信州 ESD コンソーシアム」の本年度通常総会が開催されました。

総会に先立ち、奈良教育大学の中澤静男准教授より「新学習指導要領に即して ESD の授業実践を展開する」と題して、基調講演がありました。（写真左上）

講演内容は、ESD の概要と歴史的背景、新学習指導要領の基盤として ESD の理念が組み入れられたこと、持続可能な開発目標（SDGs）についてでした。講師は、聴講者に意見を聞いたり、議論をさせたりしながら、話を進めたので、難しい内容にもかかわらず、会場は大いに盛り上がりました。最後には、「ESD には探求の楽しさ、社会の人の役に立つという楽しさがあります。この楽しさを子どもたちに伝えてあげてください」とのメッセージで締めくくりました。この後、総会が開催され、議長にコンソーシアム運営委員長の西一夫信州大学教授が選任され、役員改選、事業報告、事業計画が審議され、いずれも全会一致で承認されました。（写真右下）

議事終了後には、参加団体活動紹介として、各団体から、ESD の実践状況について報告がありました。いずれも、地域との関りを持たせた事例が多く、ESD が徐々に浸透している様子が伺えました。

＊「ESD」とは「持続可能な開発のための教育」

（専務理事　宮島和雄）

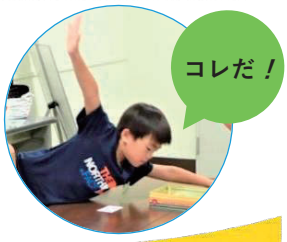
地球温暖化防止活動推進センター通信

報告 信州環境カレッジ 2019 ☀ 夏休み！子どもエコチャレンジ ★ SDGs コース

めざせ！かんきょうマークはかせ

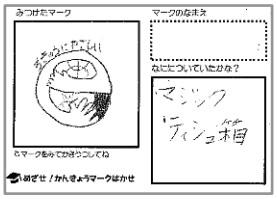
8/3（土）・8/8（木）、県センターは、商品についている様々な「環境マーク」に親しんでもらう小学生向けのイベントを開催。付き添いの保護者や弟妹も一緒に、総勢約 40 名で賑やかに行いました。

かるた



「貨物列車でモノを運ぶと CO_2 が少なくすむよ……エコレールマーク！」
「はい！」「あったーっ！」
班別対抗戦のかるたは
大盛り上がり♪♪♪
環境マーク、覚えたかな？

マークさがし



商品パッケージが並んだ“お店やさん”でお買い物。選んだパッケージを、上下左右、中までじっくり見て環境マークを探し、見つけたマークの絵と、何についていたかを、カード（左）に記入。みんなで力をあわせて 30 種類以上のマークを見つけることができました。

グリーンパワーマークのついたペーパークラフトの自動販売機も好評☆

最後に「かんきょうマークはかせ認定マグネット」や缶ちゃんバッグ等贈呈。

こたえあわせ

みんなが集めた環境マークを、リサイクル系等分類毎に確認。

「楽しかった♪」「自由研究にする！」「家でもカード作ってマーク探すの」等の感想が聞けました。ゴミの分別や実際の買い物などに活かしてもらえたら幸いです。

エコドライブシミュレーター講師養成研修会を開催しました

8 月 7 日（火）、県センターでは、エコドライブシミュレーターの講師を養成するため、推進員を対象に、操作を習得する研修会を行いました。参加者からは「イベントで活用するには、ひとりではまだ心許ないが、複数の推進員で一緒に活用してみたい」などの声が聞かれました。イベントでは来場者が集まり華がある機器なので、講師として推進員の皆様が新たな活躍の場を得られることを期待しています。

10月 は 3R 推進月間・環境にやさしい買い物月間

「打ち水大作戦」に参加しました－中信支部－

８月２日（金）に松本城で「打ち水大作戦」が行われました。

この取り組みはエコネットまつもとが 2005 年から松本城公園で行なっており、中信支部も参加しています。

浄水場から採水した井戸水 1.4 トンが用意され、正午に一斉に打ち水が行われました。海洋プラスチックごみ問題もあり、今年も昨年に引き続きプラスチックの柄杓の代わりに竹筒の柄杓を使った環境に配慮した打ち水を意識しました。

松商学園の生徒さんや松本商工会議所女性会も参加し、賑やかで楽しく打ち水が行われました。

打ち水前は 34.2℃を示していた温度計が打ち水後は 32.9℃まで下がり、ほんのひと時ではありましたが涼しさを感じることが出来ました。

中信支部　宮坂　学（キッセイ薬品工業㈱）

夏休み親子環境学習バスツアー「温暖化ってなあに？」を開催

長野市センターと長野市（環境保全温暖化対策課）共催による「親子環境学習バスツアー」が８月４日（日）に開催されました。環境関連施設の見学や自然観察を通して地球温暖化の現状や自然を守ることの大切さを理解し、温暖化防止について自ら考え、行動を起こす機会となることを目的として企画したものです。

応募多数のため抽選を経て参加された９組の親子 28 名が最初にお訪れたのは「いいづなお山の発電所」（写真上）。参加者からは、「木質バイオマス燃料を使用した発電現場を外から内から隈なく見学できて良かった」、「発電所を今回初めて知ったが、エコの勉強になり良かった」などの声をいただきました。

午後は、日本野鳥の会長野支部の方の案内で戸隠森林植物園内を散策しました（写真下）。

時折聞こえてくる小鳥のさえずり、カイツブリやカルガモの愛らしい姿に接したほか、木道脇に熊がいた痕跡を目の当たりにするなど、自然の営みを肌で感じることができたのではないでしょうか。

（長野市センター事務局長　宮沢　博）

会員数

（2019 年 8 月 31 日現在）

＊特別会員　92 名　＊一般会員　438 名
＊賛助会員　203 名　＊**総会員数　733 名**

事務局だより

協会の定時総会が 10 月 15 日（火）に開催されます。終了後に環境講演会を一般公開により信州大学名誉教授 鈴木啓助氏を講師に「南極で考える地球環境問題」と題して行ないます。

会場はホテル国際 21 で午後 3 時半から開催します。入場は無料です。

秋は各地で環境をテーマにしたイベントが予定されています。この模様はエコシンでも随時紹介していきます。

県の SDGs 推進企業登録制度の第 1 次登録企業が 80 社になりました。当協会の会員様も多数登録されています。

行事・イベント情報

▼10/5（土）6（日）　環境フェア in 佐久
▼10/6（日）　伊那市環境展
　　くらしいきいきエコフェスタ　諏訪市
▼10/12（土）13（日）安曇野環境フェア
▼10/19（土）うえだ環境フェア
▼10/26（土）高原の都市エコフェスタ　茅野市
▼10/27（日）長野市環境こどもサミット

■発行元
〒380-0835　長野市新田町 1513-2
□**一般社団法人　長野県環境保全協会**
TEL.(026)237-6620　FAX (026)238-9780
E-mail:nace@janis.or.jp　http://nace.main.jp/
□**長野県地球温暖化防止活動推進センター**
TEL.(026)237-6625　FAX (026)238-9780
E-mail:nccca@dia.janis.or.jp　http://www.dia.janis.or.jp/~nccca/
□**長野市地球温暖化防止活動推進センター**
TEL.(026)237-6681　FAX (026)237-6690
E-mail:eco-mame@dia.janis.or.jp
http://www.eco-mame.net/

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC www.fsc.org
FSC® C020425